

シルバー人材センター



シルバーマーク

ニュース

ゆんたく

〈発行所〉

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター
〒904-2155 沖縄市美原3丁目1番1号
電話番号 (098) 929-1361
<http://www.okinawasisi.com>
11月末現在の会員数567人
(男性351人・女性216人)

会員の皆様へ

＝新型コロナウイルスの感染症拡大防止への対応について＝

令和2年も残りわずかとなりましたが、県内では新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況下であり「市中感染」や「家庭内感染」が多数報告されています。

会員の皆様においては、年末・年始に向けて、忘年会や新年会等、会食・飲食の機会が増えてくると思いますが、会食等を行う際は、大人数での会食を控えるとともに「3密」とならないよう十分に気を付けてくださるようお願いいたします。(3面に関連)

「センター事業に更なる支援を」 上原理事長ら沖縄市と市議会に要請

上原秀雄理事長、浜比嘉宗明副理事長ら役員らは11月10日、桑江朝千夫沖縄市長と小浜守勝沖縄市議会議長をそれぞれ表敬訪問。席上、全国シルバーセンター事業協会の「令和2年度定時総会」で採択された各自治体への「支援の要望」を踏まえた当センター独自の支援要請書をまとめ、桑江市長と小浜市議会議長へ同要請書を手渡した。(2面に要請文)



「要請書」を手渡す上原理事長
桑江沖縄市長(写真左)に



小浜守勝沖縄市議会議長
(写真右)に「要請書」
を手渡す上原理事長

我が国においては、人口減少、少子高齢化が進展し、人生百年時代を迎えた今、誰もが生涯現役で活躍できる社会の実現が求められています。

シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献しています。

昨年十二月に政府がまとめた「全世代型社会保障検討会議中間報告」においても、元気で意欲あふれる高齢者が、その能力を十分に発揮し、年齢にかかわらず活躍できる社会を

「人生百年時代」におけるシルバー人材センターの決意と支援の要望

創る必要性が指摘されており、シルバー人材センターの果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなっています。

こうした国の施策の実現や、地方自治体の施策、地域社会の期待に応えるべく、私たちは今、平成三十年度から令和六年度までの七年間を期間とする「第二次会員百万人達成計画」を踏まえ、会員拡大、とりわけ女性会員の拡大の取組を強力に推進しているところです。

また、「自主・自立・共働・共助」という理念のもと、

高齢者の安全就業を確保し、国が定めた適正就業ガイドラインを順守しつつ、

① 介護予防・日常生活支援総合事業など要支援高齢者に対する支援事業

② 放課後児童クラブの担い手など子育て中の現役世代や子供たちへの支援事業

③ 人手不足や働き方改革に取り組む地元企業に向けたシルバー派遣等の事業

④ 空き家管理、遊休地を活用した農園事業など地域の課題解決に資する事業

等を重点に取り組み、地域社会の発展と就業意欲のある高齢者の受け皿としての役割を果たしてまいりたいです。

つきましては、令和三年度のシルバー人材センター事業の推進のために必要なセンターに対する補助金等の確保を要望いたします。

特に、国においては一般会計をはじめとした補助金の確保、また、都道府県・市区町村においては国の補助金と同額以上の補助金の確保、さらには、センターに対する市区町村等の公共からの事業発注の確保について、強く要望いたします。

また、令和五年十月に導入予定の消費税における「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」について、シルバー人材センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となる措置を要望いたします。

新型コロナウイルスの感染注意報（第4報）への対応について

(公社) 沖縄県シルバー人材センター連合

令和2年10月20日

マスコミ報道によると連日30名以上の新型コロナウイルス感染症の新規感染者が報告されている中、市中感染拡大に十分な注意が必要な状況にあることから19日、市中感染の拡大防止対策の徹底を呼び掛ける「沖縄県新型コロナウイルス感染注意報（第4報）」が県全域を対象に発出されました。

特に、各地域でのクラスター発生等により病床がひっ迫する状況となっており、これ以上の感染拡大が続くと病床不足となることも懸念されています。

新型コロナウイルス感染症は、高齢者が感染すると重症化するリスクが高いと言われていますが、病床不足の状況では、会員が万一感染しても医療機関への受入れができず、適切な治療が受けられない場合も考えられるので、会員への感染を防ぐため下記の防止対策についてご検討いただくようお願いいたします。

感 染 防 止 対 策

- ①会員に対して、改めて外出自粛やマスク着用等の日常の予防措置の徹底を図る。
- ②会員への就業提供を行う場合、会員及び就業先に対して、マスク着用、手指消毒、換気の徹底、3密回避等の予防措置の徹底を図る。
- ③会員に対して、発熱や風邪症状等があるときは就業の自粛を徹底する。
- ④就業先において、3密の回避ができない等、感染リスクが高い場合は就業を自粛する。
- ⑤企業等の感染者発生状況に留意し、当該企業等から仕事の依頼は、感染防止対策を確認し、感染リスクが高い場合は受注しない。
- ⑥会員や高齢者対象の研修・講習等の自粛、延期、または実施する場合の3密回避対策等を徹底する。

※ 以前発出した「新型コロナウイルス感染症への対応について」等も参考にして対策に万全を期すようお願いいたします。

就業中の車両に絡んだ事故が多発 連合と合同安全パトロール実施

(写真右から) 玉城徳三指導委員、
上江洲勝安全委員、具志堅馨リーダー



中城湾港州崎で歩道帯の除草作業に従事する
金城グループ(金城一成リーダー)の皆さん



コザ運動公園で清掃作業中の下茂門清掃班(下茂門サエ子リーダー)の皆さん

月例の連合同行による安全・適正就業パトロールが10月27日、除草班2グループが就業中の中城湾港幹線の州崎側とコザ運動公園清掃班の両就業現場で行われた。連合の玉城徳三安全・適正就業パトロール指導員は「全国的に事故は増加傾向にあり、特に就業中の車両に絡んだ事故が多い。コロナやインフルエンザにも注意しながら、徹底した事故防止策で就業に臨んでほしい」と訴えた。上江洲勝安全担当は「今年度はすでに5件の事故が発生しており、昨年度の3件をはるかに超え事故の増加を懸念している。会員の皆さんには、日頃の健康管理と慎重な作業で、安全就業の徹底を改めてお願いしたい」と話した。

第9回 理事会

入会会員 前月に続き増加 — 10月実績 —

第9回理事会が11月20日、シルバーワークプラザ会議室で開催された。

議案第1号「正会員の入会」について、11人(男性8人・女性3人)が承認され、その結果11月20日現在の会員数は567人(女性216人・男性351人)となった。なお、9月の退会者は0人。

議案第2号「訪問介護員等の就業規約の一部変更」については、公益社団法人沖縄市シルバー人材センター定款第32条第1項第3号の規定に基づき、原案通り議決された。

令和2年10月の主な実績では、会員数556人で1人の増(0%)、就業実人員339人で16人の増(4%)、就業延人員4062人で64人の減(▲1%)、配分金約2142万円で約4万円の減(0%)、契約金額約2702万円で約25万円の増(1%)となった。(いずれも対前年同月比)

無事故記録

令和2年10月2日～

2年11月20日現在

50日

就業現場めぐり



(前列右から) 安達千代子さん、下茂門サエ子さん、新城正子さん、金城京子さん、新垣千枝子さん (後列右から) 柴村弘子さん、徳元節子さん、栗国由美子さん、青木みどりさん

「コザ運動公園清掃作業」
下茂門就業グループ

下茂門就業グループ(下茂

門サエ子リーダー)は、公園の屋内外の清掃業務を一手に引き受ける。清掃班のメンバーは21人だが、この日は12人が就労。トイレの掃除や園内の清掃のほか、コロナ対策のため武道室の清掃は、ドアノブや手すりなどの拭き掃除から室内の消毒液噴霧までが新たに加わり、苦勞も多い。それでも、下茂門リーダーは「メンバー個々の作業ペースは様々なので、とにかく無理しないようにしっかりメンバー同士の意思疎通を図るようにしている。そのため作業前のミーティングでは、一人一人が気持ちよくあいさつしながら気合を入れて臨むことで、安心・安全で楽しく働けるようにしている」と笑顔で話す。



新入会員紹介

11月20日付で11人(女性3人・男性8人)が新会員として入会しました。地区の皆さんよろしく。

- 新里 廣 (越来・宮里中校地区)
- 野崎 幸夫 (美里中校地区)
- 仲松 努 (越来・宮里中校地区)
- 山内 庫光 (美東・東中校地区)
- 兼島 勝 (美東・東中校地区)
- 古謝 順子 (コザ中校地区)
- 屋良 文字 (美東・東中校地区)
- 上原 幸男 (美里中校地区)
- 義 順子 (コザ中校地区)
- 名嘉 正光 (美東・東中校地区)
- 仲松 勇 (美里中校地区)

就業相談日のお知らせ

毎週月・水曜日

午前10時～午後4時

シルバーワークプラザ会員研修室

お気軽にご相談ください。

寄稿



就業現場での所感・雑感

(公) 沖縄市シルバー人材センター理事 仲宗根 弘 氏

「シャウシン」(台湾語で気をつけての意味) 思い切って声を掛けてみた。こどもの国の駐車場、中央公園清掃等々の仕事に關わり一年。台湾系のお客様が多く、マイペース感が強い人もいて「シャウシン」の一言で振り返りを注意してくれる効果がありました。実は、孫が台湾大学留学中で孫に教えてもらいたい役に立ち、改めて孫の成長を感じました。

そんな折、一月に豚熱の発生があり車輪消毒が実施され、朝まだ暗い午前七時出勤、園内動物舎の工事車輪の出入が多くメンバーの忙しい日が三月まで続き、その後新型コロナウイルスの世界的広がりによりお客様の激減、さらに臨時休園となりその影響は子供たちや親御さんだけでなく、普段入園者が多かった園内に人影が減ると動物達にもストレスとなるそうです。

夏場に入り徐々にお客様も増えた頃、熱中症注意報が、まだまだ体力に自信のあつ

た自分がまさかお客様の車の前で両足にケイレンで動けなくなり、熱中症の怖さを知ることになりました。

駐車場案内で感じたことは、ほんとうにウチナーンチュは歩くことが好きではなさうで、満車状態と知りながら少しでも入場口近くに車を止めようと駐車場内をぐるぐる廻ったり、中央公園を案内するといいやらない等々。そんな時でも子供たちの行動には癒されます。おはようと手を振ると、人見知りなのか私との距離を確認してから手を振り返したり、「ジージー」と見知らぬ子がお菓子をくれたり、早くマスク顔から解放される日を願うばかりです。

そんな一年でしたが一月の桜、雑草の花、琉球野生蘭、梅雨、入道雲、台風、セミの声、赤トンボ、マカヤーの花、クワデーサーの落葉等々さまざまなウチナーの季節を感じさせるこの国、中央公園でした。平穏な日々がこれからずっとずっと続くことを願う今日この頃です。



「スミマセンでは済まない」刈払機講習会

「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育」講習会が11月26日、ワークプラザであり、5人が受講した。当センター事務局の比屋根正一、高吉満弘、上江洲勝さんの3人が講師を務め、比屋根さんが刈払機の構造や取り扱い

方法、高吉さんが就業現場での取り扱い方、上江洲さんが安全・注意点を説明。上江洲さんは「県内17センターで年間80件前後の事故が発生しているが、半分は刈払機によるもの。スミマセンでは済まない事故が多く、刈払機を安易に考えては困る」と訴えた。

講座名	曜日	時間	受講料	講座内容
総合クラス	火曜日	10時～12時	10,800円	Word・Excel・パワーポイントその他受講者個々の要望に応じて進める
EXCELクラス	火曜日	13時～15時	10,800円	エクセルの基本、表計算、家計簿等
Word入門クラス	木曜日	10時～12時	10,800円	パソコンの基本操作文書作成等
Wordクラス	木曜日	13時～15時	10,800円	表やイラストを挿入他本格的な文書作成、はがき作成等
総合クラス	火曜日	10時～12時	10,800円	Word・EXCEL・パワーポイントその他の受講者個々の要望に応じて進める



受講しませんか
「第Ⅳ期（1～3月）パソコン講座」

初心者にも優しい講師が
 皆様をお待ちしています。

- ◎ 定員・・・各講座10名（先着順で切り）
- ◎ 申込・・・12月10日(木)～16日(水) 午後1時～4時
- ◎ 地域、年齢は問いません。(駐車場完備)

★ いつでも見学できます、気軽にお問合せ下さい。



お申込・お問い合わせ
 (公社) 沖縄市シルバー人材センター
 〒904-2155 沖縄市美原3-1-1
 Tel. 929-1361

Ⅰ期 4月～6月
 Ⅱ期 7月～9月
 Ⅲ期 10月～12月
 Ⅳ期 1月～3月

就業情報一覧表（令和2年11月27日作成）

以下の情報は、沖縄市シルバー人材センター会員に登録されている方を対象とした情報となります。希望される会員は事前にセンターまでご連絡ください。

※ 発注者への問い合わせは絶対にしないで下さい。

※ 掲載後すでに終了している場合があります。ご了承ください。

NO	就業名・作業内容	就業場所	募集人数	配分金	就業条件
1	沖縄こどもの国 (園内清掃業務)	沖縄市胡屋	3名	要確認	8:30～17:00 (火曜休み) 週3日程度のローテーション
2	独自事業弁当 (弁当販売)	沖縄市内	1名	要確認	8:00～13:00 (土・日・祝日休み) 車運転あり

仲間を募集しています！

もっと仕事を!!

もっと仲間を!!

もっと生きがいを!!

60才からの「もっと」を



大応援する。

公益社団法人
沖縄市シルバー人材センター

約700名の会員が、就業や社会奉仕活動等ががんばっています。

ひゃみかち!!

●お問い合わせください。

電話 (098) 929-1361

◇12月の予定◇

- ・10日(木) 午前10時
新会員入会説明会
- ・22日(火) 午前10時
理事会
- ・24日(木) 午前9時
刈払機取扱い作業者
に対する安全衛生教育
- ・28日(月) 仕事納め

編集後記

子年を迎えて予想だにできなかった新型コロナウイルス感染症の猛威。この一年コロナ禍に翻弄され今なお、終息のメドが見通せない。センター事業は規模縮小や変更、ひいては中止などが相次ぎ、地区活動に至っては皆無に追い込まれた。それに伴い「ニュースゆんたく」も記事が激減し、青息吐息で紙面を構成、何とか発刊を続けている。「ウイルスコロナ」とか「新しい生活様式」云々がメディアで賑わう昨今だが、2020年という年は世界の人々に記憶される年となるだろう。今年も余すところあとわずか。

編集

東條 正躬
大城 博